

マイスターだより

川西町立小松小学校
令和7年6月6日（金）
文責：情野 夏美

今年度「教科担任マイスター」を拝命し、算数の授業づくりについてやICTの効果的な活用方法について先生方と共に、考え、実践していきたいと思えます。また、マイスターの研修等で学んだことや授業実践を、先生方と共有するために、「マイスターだより」を発行いたしますので、ご一読いただけますとありがたいです。
1年間、よろしくお願いいたします。

1 マイスターの業務

- (1) ICTを活用した教材開発及び授業実践を推進
- (2) 大学等の外部有識者等の支援・助言を受け、質の高い授業づくりを推進
- (3) 示範・モデル授業を提供・提案
- (4) 授業改善に向けた日常的な取り組み等について、県内の学校に情報発信
- (5) 校外の研修会等に参加し研修内容を伝達

※今年度は、主に（１）（２）（５）に力を入れていきます。

2 校外の動きについて

●体制について

- チーム小松（小松小、興譲小、松川小、高畠小、飯豊二小）
→小松小の校内研をベースに、共同研究を行っていく。
12月5日（金）の授業研に向けて授業づくりを行っていく。
【共同研究の視点】
(1) 児童の対話によって学びが深まる授業
(2) ICTの効果的な活用方法について

●研修について

- ① 6月24日（火）重点校拠点研修①（小松小会場）
 - ・小松小の校内研究についての話し合い
 - ・重点校拠点研修②③の授業について
 - ・ICTの効果的な使い方
- ② 7月15日（火）重点校拠点研修②（小松小会場）
 - ・5年1組授業公開（児童のICT活用の実態把握）
 - ・重点校拠点研修③の授業について
- ③ 12月5日（金）重点校拠点研修③（小松小会場） ※校内研と一緒に行う
 - ・5年1組授業研究会

●大学等の外部有識者について

- 山形大学 野口 徹先生
12月5日（金）にご指導していただく。
7月15日（火）、11月5日（水）校内研②については調整中。

3 校内の動きについて

●校内の「教科担任マイスター」の意義

柱は「教科指導力の向上」

そのために…①ICT の効果的な活用 ②児童主体の学び を行っていく。

●校内の体制 マイスターチーム

- ・ICT チーム（算数科・国語科における ICT 活用の効果検証）

鷲尾先生、吉野先生、小形先生、ICT 支援員

- ・主体的な学びチーム（主体的な学びを創る単元構成）

教頭先生、高橋祥先生

- ・情報発信チーム（日常的な ICT 活用と主体的な学びを創る授業改善の情報発信）

校長先生、小形先生、ICT 支援員

●教科担任マイスター（情野）の活動目標

①集中的な教材研究

国語科・算数科を中心とした ICT の効果的な活用方法について、チームで考えたり、自分の実践を共有し合ったりする。その情報を全職員に発信し、日々の授業実践に生かしてもらおう。また、ICT 支援員の協力を得ながら、ICT 活用の実践を増やしていく。開発した教材については、学校全体で共有し、継続的に活用していく。ICT 活用の場面を単元や授業の中で、どのように位置づけることが効果的であるか検証していく。

②伴走的な教師の関わり

教師の説明的授業からの脱却を図るために、チームで授業について考えたり、マイスターの研修会での情報等を共有したりする。年間2～3単元程度、単元内自由進度学習（学習計画を子供たちが行い、個々の目標に向かって学習を進めていく授業）の時間に当て、児童の主体的な学びを提供できるように努める。児童が進んで学習を進められるような声かけや支援、教材の提供を行う。

③複数の目による児童理解の視点での授業改善

教科担任制による複数で児童を見取るというよさを生かし、児童の特性や個別の効果的な対応について情報を共有し、日々の授業改善に努める。（生徒指導の視点）職員間の情報共有の時間を確保し（2週間に1回程度、休み時間等で）、共通認識を図る。学級経営や生徒指導に生かしていく。

4 5年生算数科の実践から

5年算数「小数のかけ算」で、単元内自由進度学習を行いました。成果と課題、使用した資料や児童のノートを回覧しますので、ご覧いただければと思います。

5 さいごに

マイスターの共同研究の視点である

（1）児童の対話によって学びが深まる授業

（2）ICT の効果的な活用方法について

をぜひ、実践・検証していただき、ご意見や感想をいただきたいと思います。

また、上記の視点については、校内研とも関わりがあります。少しでもいいので、授業の中で実践していただけるとありがたいです。よろしくおねがいします。